

## 第4学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日(〇)〇校時  
場 所 4年〇組教室  
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 正しいと思うことは自信を持って行う「A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任」

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え, 正しいと判断したことは, 自信を持って行おうとする道徳的心情を育てる。

#### (2) 教材名

「全校遠足とカワセミ」(東京書籍 新しい道徳4)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は, 小学校学習指導要領解説特別の教科道徳, 内容項目「A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任」の「正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと」を受けている。よいこと, 正しいことについて, 人に左右されることなく, 自ら正しいと信じる場所に従って, 誠実かつ謙虚に行動することは, 人として重要なことである。

中学年の段階において, 児童は様々な学習や生活を通して, 正しいことや正しくないことについての判断力が高まっている。しかし, 正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり, 悪いことと知りながらも周囲に流されたり, 自分の弱さに負けてしまうこともある。正しくないと考えられることを人から勧められたときに, きっぱりと断つたり, 正しくないと考えられることをしている人を止めたりできる行動力が求められる。自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え, 正しいと判断したことは自信を持って行うことが大切だと考え, 本主題を設定した。

#### (2) 児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童は, 3年時に「二つの声」の授業で, 「正しいことを行えない時のうしろめたさや正しいと判断したことを, 自信を持って行うことの大切さ」, 「SL公園で」の授業で, 「正しくないと判断したことは行わないようにすることや正しくないと考えられることをしている人を止めること」について学んできた。また, 「ドッジボール」の授業で, 「人に左右されることなく正しいと判断したことは自信をもって行うこと」について学習してきている。しかし, 普段の生活では正しいと判断したことを行うことの大切さは理解しているものの, 周囲に流されたり, 自分の弱さに負けたりしてしまう様子が見られる。そこで, この授業を通して自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え, 正しい判断したことは自信を持って行おうとする道徳的心情を育てていきたい。

そして, 高学年の「自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること」に発展させたい。

### (3) 使用する教材の特質

本教材は、おさむと、仲良しのたけしが全校遠足に出掛けたときの話である。遠足当日、おさむは、公園までの移動中にたけしからカワセミの話の聞き、興味を示す。おさむは「大縄が終わったらカワセミを見に行こう」とたけしに誘われたが、リーダーに「自分勝手な行動をとらないように」と注意されていたので、曖昧な返事をする。大縄の後、たけしに「さあ、行こう」と言われたが、おさむは二・三步進んだところで足が止まり、「やっぱりだめだよ」と断る。おにごっこが始まり、木の陰に隠れた二人の間に微妙な空気が流れる。「やっぱりやめるか」とつぶやいたたけし。おにから逃げ、走り出す二人には風や目にとびこんでくる緑がとても気持ちよく感じられた。

教材の最後の文章にある「二人にはとても気持ちよく感じられました」という表現から、自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちに気付かせ、正しいと判断したことは自信を持って行うよさについて考えさせることができる教材である。

### (4) 指導観

正しいと判断したことを、自信を持って行うことや、人から勧められた時にきっぱりと断ることについては理解しているが、周囲に流されてしまうという児童の実態を踏まえて、正しいと判断したことは、自信を持って行うことで充実した気持ちにつながることに気付かせたい。

導入場面で問題意識を持たせるために身近な問題を取り上げる。自分だったらどうするかを問い、心情円を活用し、自分の心の中の迷いを視覚化する。その際に周りの児童と交流することで、一人一人感じ方が異なることに気付かせる。展開場面では、おさむが曖昧な返事をしてしまった時の心の葛藤を、友情や興味・関心といった様々な価値から多面的・多角的に考えさせる。二・三步進んだところで足が止まった場面を中心場面とし、心の葛藤を乗り越えることの大切さに気付かせたい。さらに、教材の最後の文章にある「二人にはとても気持ちよく感じられました。」という表現から、自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちに気付かせ、正しいと判断したことは自信を持って行うよさについて考えさせたい。

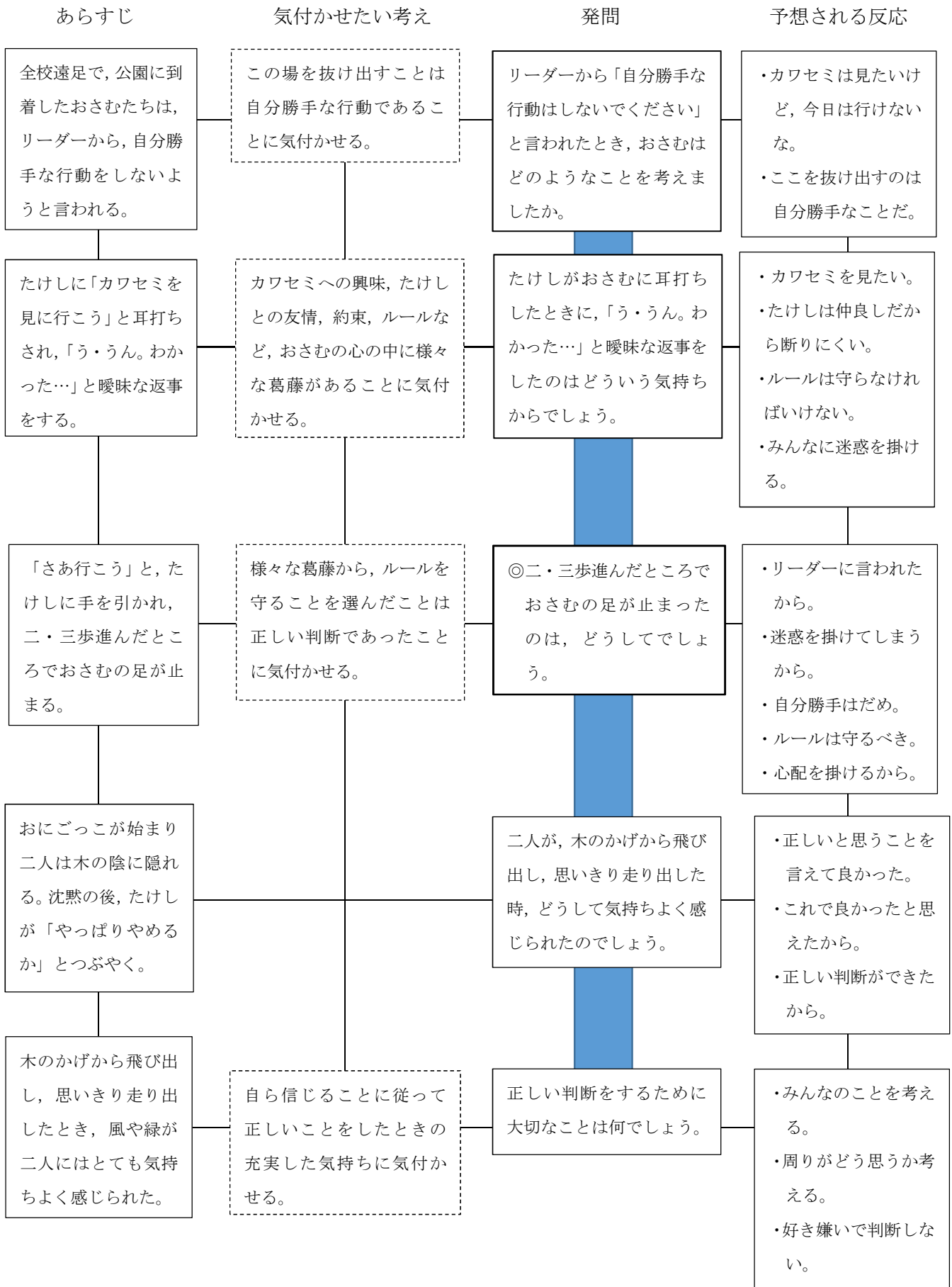
児童の学習状況を見取るために、学習指導案の表紙に添付した「授業のポイント」、道徳ノート、板書の記録を活用する。「授業のポイント」には、あらかじめ準備した引き出したい発言に児童名を書くことで記録に残す。板書の記録は、児童の発言や思考の流れが分かる構造にし、授業後に写真を撮って残し、発言した児童の名前を書き込むことで、道徳ノートでは見取ることが難しい児童の考えを見取る。道徳ノートは、授業を通して、多面的・多角的に考えることができたか、今後どう生かしていくか、導入時点からの考えの変化や深まりが見られたかを見取る。また、これらを通して、児童の学習状況だけでなく、授業者自身で授業を振り返り、改善に生かしていく。

#### 4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

#### 5 学習指導過程 . . . 別紙

#### 6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時のねらいとする 道徳的価値について問 題意識を持つ。(一斉)	○仲良しの友達から、「帰りに見せ たいものがある」と言われまし た。それは少しだけ通学路から 離れたところにあるそうです。 あなたはどうしますか。 ・行く。 ・行かない。 ・迷う。	身近な問題を取り上げ、自分 の考えを心情円を使って視 覚化する。(問)
	2 課題をつかむ。 (一斉)		心情円を活用して、自分の考 えを近くの児童と交流させ、 一人一人感じ方が異なるこ とに気付かせる。(多)
			・判断という言葉の意味を確認 する。(=物事を理解し、考え を決めること。)
展開 30分	3 範読を聞き、おさむ の心情に迫るために話 の内容を理解する。 (一斉)		・範読の前に登場人物について 簡単に押さえ、内容を理解し やすくする。 ・おさむの迷う気持ちを考えな がら聞かせる。 ・おさむとたけしは仲良しで大 切な存在であること、おさむ はカワセミに興味を示して いること、自分勝手な行動は しないようにとされている ことを押さえる。
	4 リーダーの話を聞い たときのおさむの心情 を考える。(一斉)	○リーダーから「自分勝手な行動 はしないでください」と言われ たとき、おさむはどのようなこ とを考えましたか。 ・カワセミは見たいけど、今日は 行けないな。 ・ここを抜け出すのは自分勝手な ことだ。	・おさむがこの場を抜け出すこ とは自分勝手なことである ことに気付かせる。
	5 おさむの心の葛藤に ついて考える。 (個人→ペア→一斉)	○たけしがおさむに耳打ちしたと きに、「う・うん。わかった…」 と曖昧な返事をしたのは、どう いう気持ちからでしょう。 ・カワセミを見たい。	・おさむの心の中に様々な葛藤 があることに気付かせるた めに、ノートに書かせる。

<p>展開 30分</p>	<p>6 カワセミを見に行かないと判断したおさむの気持ちを考える。 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーに勝手な行動をしないように言われた。</li> <li>・たけしは仲良しだから断りにくい。</li> <li>・見に行ったら班のみんなに迷惑がかかる。</li> <li>・リーダーに叱られる。</li> <li>・みんなに心配をかける。</li> <li>●だめだと思うのならはっきり言えばいいのではないですか。(友情)</li> <li>●カワセミは見れなくてもいいのですか。(興味・関心)</li> <li>●「う・うん。わかった…。」と言われたら、たけしはどう思うでしょう。(約束)</li> </ul> <p>◎二・三步進んだところでおさむの足が止まったのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーに言われたから。</li> <li>・やっぱり自分勝手な行動はだめだと思ったから。</li> <li>・ルールは守らなければいけないから。</li> <li>・行ったら迷惑をかけてしまうから。</li> <li>・みんなに心配かけるから。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「う・うん。わかった…」と曖昧な返事をしたのは、どういう気持ちからかをグループや全体で交流し、多様な考えに触れさせる。(多)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>おさむの心の葛藤を、友情や興味・関心などの価値から多面的・多角的に考えさせる。(多)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おさむの気持ちを考えた後、カワセミを見に行かないと判断したことは正しい判断であったということを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>おさむが葛藤を乗り越え、正しい判断ができたことについて、自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;評価&gt; 心の葛藤を乗り越え、正しいと判断したことを、自信を持って行うことの大切さを、自分との関わりで考ようとしていたか。(自)【ノート・話し合い・発言】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくないことを人から勧められた時にきっぱりと断ることで、充実した気持ちにつながることに気付かせる。</li> </ul>
	<p>7 正しい判断をしたことで充実した気持ちを感じられたことに気付く。 (一斉)</p>	<p>○二人が、木のかげから飛び出し、思いきり走り出したとき、どうして気持ちよく感じられたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おさむが正しいと思うことを言えてよかったと思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくないことを人から勧められた時にきっぱりと断ることで、充実した気持ちにつながることに気付かせる。</li> </ul>

	<p>8 正しい判断をするために大切なことについて考える。(一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これでよかったと思えたから。</li> <li>・正しい判断ができたから。</li> <li>・たけしにも気持ちが伝わったから。</li> <li>・たけしもやっぱり良くないと気付いたから。</li> <li>・見に行かなかったことで、リーダーやグループのみんなに心配をかけずに済んだから。</li> <li>●おさむだけでなく、たけしも気持ちよく感じられたのはどうしてでしょう。</li> <li>●この判断は、リーダーやグループのみんなから見たらどうだったでしょう。</li> </ul> <p>○正しい判断をするために大切なことは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのことを考える。</li> <li>・まわりがどう思うか考える。</li> <li>・まわりに流されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おさむの行動が、周りの人の立場から見ても正しい判断であったことに気付かせるための補助発問を用意する。</li> </ul>
<p>終末 10分</p>	<p>9 自己の生き方について考える。 (個人→一斉)</p>	<p>○この授業を通して、正しい判断をするために大切なことについて考えたことや感じたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲のよい友達には言いにくいけど、言ったことでスッキリするから言った方が良かった。</li> <li>・正しい判断をすると、気持ちがよくなるのが分かった。最初は少しくらいなら寄り道してもいいと思ったけど、みんなに心配を掛けるので、やっぱりいけないと思った。</li> <li>・正しい判断をするためにはみんなのことを考えることが大切だと思った。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>正しい判断をするために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。(生)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt; 正しいと判断したことを自信を持って行うことの大切さについて考え、今後の生活にどのように生かすかを考えているか。 (生)【ノート、発言】</p> </div>

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

【評価】

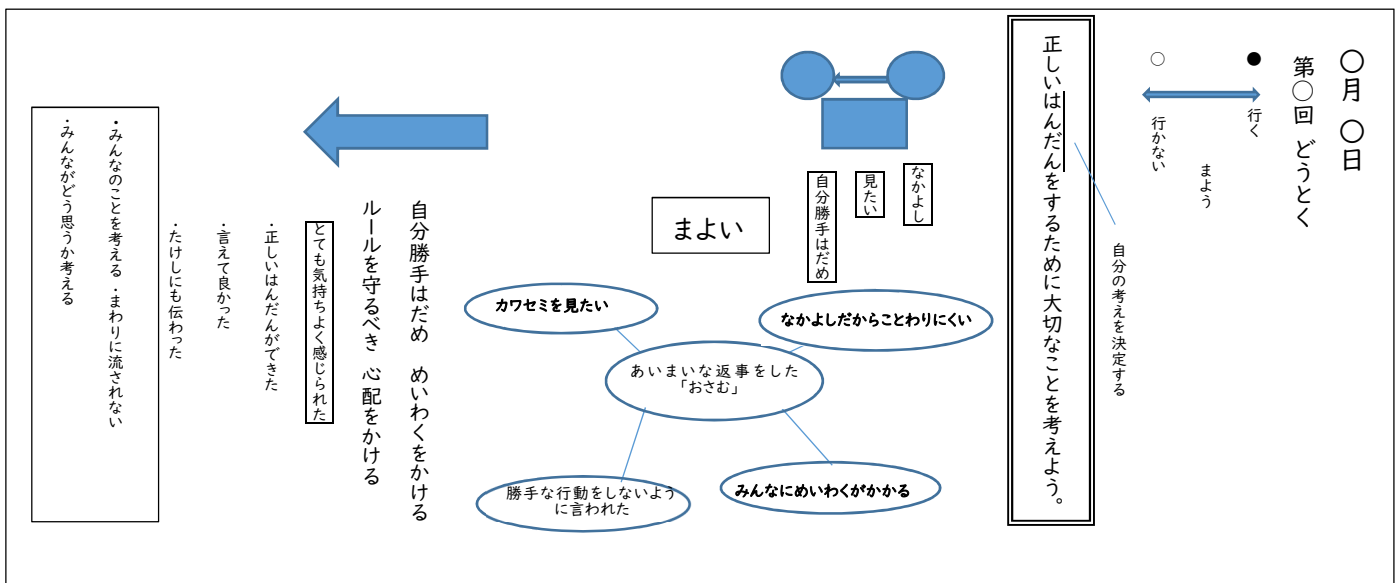
＜児童の評価＞

- ・心の葛藤を乗り越え、正しいと判断したことを、自信を持って行うことの大切さを、自分との関わりで考えようとしていたか。 (自)【ノート・話し合い・発言】
- ・正しいと判断したことを、自信を持って行うことの大切さについて考え、これからの生活に生かそうとしていたか。 (生)【ノート・発言】

＜教師側の授業評価＞

- ・発問や補助発問を通して、主人公の心の葛藤を多面的・多角的に考えさせ、それを乗り越えることで充実した気持ちにつながることを考えさせることができたか。 (多) (自)【ノート・話し合い・発言】

【板書】



【準備物】

- 教師：教科書，心情円，場面絵
- 児童：教科書，道徳ノート，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

